

Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書(報告書)

学校番号	32	学校名	都留高校		
全・定・通	定	学年	3	在籍生徒数	1名
教育目標 (学力に関するもの)	基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を向上させながら、社会で必要とされるコミュニケーション能力を育成する。				
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 仲間を大切にし、相手を思いやることのできる生徒。 主体的、創造的に考え行動できる生徒。 社会生活で基盤となる広い教養と知識を身に着けようとする生徒。 				

教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題
国語	実社会での自己実現を達成するために必要な知識及び技能	4	5	BYODを活用し感想や意見、PPT作品等を自在に編集し、提出する能力がある。文検準2級は拙し不合格なので来年度合格を目指す。
	実社会で問題を解決し、状況を更に改善するために有効な思考力、判断力、表現力	4	5	学習内容を丁寧に復習し、思考力、判断力、表現力が高まった。友達やアルバイト先の人との交流でコミュニケーション能力を磨かせたい。
	主体的に学びに向かう力及び自己肯定感を持ち他者との協働に喜びを感じるこのである人間	4	5	進路意識の高揚により主体的、対話的な学びの機会が増え、自己肯定感も高まった。他者と協働できる授業の工夫が必要だ。
地公	学習成果と現代社会とのつながりを理解し、自身がいかに対応すべきかを多角的に考察する能力	4	5	現代の国際社会における競争や経済的危機について、歴史的背景から考察できる力がついている。個人としてどう関わり貢献できるかを考えさせたい。
	近現代の国際的な結びつきが深まる過程を理解し、生活や社会の在り方の変化を考察できる能力	4	4	自身の生活や日本経済の状況が国際社会と大きく結びついている事理解できている。異題解決などを通じて、変化する社会に対応する力を育みたい。
数学	多様な人々との共存という視点から、現代社会の課題やあり方について考察する能力	4	5	人権や民族の問題だけでなく、社会的マジョリティーについても理解が深まっている。我が国と他国における共存社会の特性についても考察を深めたい。
	図形的な性質を理解し多面的な角度から表現する基本的な知識・技能	4	5	基本的なところではできるようになったが、いまだミスが多々みられる。注意深く観察しながらミスを減らすように指導していきたい。
理科	数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力	4	5	BYODなどを使い、視覚的に立体をとらえることができた。次年度の3年次にも使っていきたい。
	粘り強く課題に取り組もうとする態度	4	4	ついつい解答に自分が行きがちだったところが、徐々にではあるが自分の解答までたどり着いてから、答え合わせができるようになってきた。
英語	自然界に起こる事象を合理的に解釈する能力	4	4	身近な事象や思考実験を通して、合理的な考えを身に付けさせるよう努力はしたが、その定着の度合いは十分とは言えないと感じた。
	観察、実験、実習のやり方を身に習け、その結果を科学的にまとめる能力	4	4	薬品や実験器具の使用の不都合に乗じて、積極的になれなかった。コアとなる実験、実習は取り入れてはほしいと思う。
英語	学んだり、自ら見出した知識や方法を適切に発信できる能力	4	4	どうしても一方的な知識、技能の伝達に偏る傾向があった。ワークシートやパワーポイントを作らせて、学んだことを発表させる場面が増えていった。
	英語の働きを理解を深め、実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能	4	4	基礎力が定着できるように、同じ英文を繰り返し音読するなど、振り返り・繰り返しがいかに重要である。
英語	日常的な話題や社会的な話題について適切に表現し伝え合う能力	4	4	日常的な話題については多少伝えることはできるが、なかなか社会的な話題を伝え合うレベルまで達していない。
	異文化理解を深めつつ、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	4	4	異文化に興味・関心を持つことが大切で、教科書の内容を踏まえながら、異文化理解につなげていくことが大切である。
芸術	古代における文字を理解し、その書体の技術を習得する	5	5	1,2年次で習得した書体を基礎とし、さらに特徴ある書体の知識を得る。古代文字の書体、書風も習得する。
	古典の臨書を通して、点画・線質の技法を身に付け、表現を工夫する	5	5	購買や用筆において緩急や抑揚をつけ、工夫した表現を身に付ける。
芸術	古典の用筆・運筆を主体的に学びとろうとする姿勢を持つ	5	5	古典の書に関心を持ち、自発的に学びとろうとする態度を保つ。
	健康及び運動についての基礎的な知識並びに健康の保持増進のための実践力	4	5	健康及び運動の保持増進するための理解は授業の中から理解できているが実践するための行動までには達していない。
体育	生涯にわたっての豊かなスポーツライフを継続する資質や能力	4	5	自分に必要とするスポーツ継続は理解しているが今後の計画等には至っていない。
	明るく豊かで活力ある生活を営む態度	4	5	現状の生活に対して一生懸命であるが、特長に向けて考えることはできていない。

教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題
情報				
総探	課題を見つけ、他者と協力・理解するとともに調査活動を実施する能力や資質	—	5	自分に合った課題を見つけ調査し、課題解決に向けて更なる上のレベルまで持っていきたい。
	テーマの設定・計画を立案する能力。情報を分析する能力	—	4	テーマは設定できるが計画的に進める能力には少し欠けているようであった。
	他者と協働し学び合う態度。社会に参画し理想の社会を実現しようとする態度	—	4	個々での学びが優先し仲間との協働には至っていないようであった。

「授業アンケート」高評価数値の推移(96:小教点第1位まで)	R6中間	R6度末
授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
ノート等で授業の記録をすることができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
家庭学習(宿題や課題)と授業を、有機的に結び付けることができた ①強くそう思う、②そう思う	0.0%	100.0%
授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%

保護者アンケート結果(学力に係るもの)
「学習意欲や基礎学力の向上につながるよう授業や教材に工夫がなされている」というアンケート項目については、約90%の保護者が「達成できている」(ほぼ達成できている)と回答した。また、「成績評価は様々な観点から公正かつ公平に行われている」という項目については、約80%の保護者が「達成できている」(ほぼ達成できている)と回答した。(3年次は生徒1名のため保護者全体の評価による)

授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)
概ね高評価であったが、対象生徒が1人だけであり、常に目が行き届く環境にあった。ゆえに、多人数の学年との比較は容易にできない。次年度も更にBYODなどをより一層活用していきたい。